

各 位

会 社 名 株式会社シイエム・シイ  
 代 表 者 名 代表取締役社長 佐々 幸恭  
 (JASDAQ・コード2185)  
 問 合 せ 先  
 役 職 ・ 氏 名 取締役  
 経営企画室担当 成田 克己  
 TEL (052) 322-3386

## 業績予想との差異に関するお知らせ

平成 25 年 11 月 8 日に公表いたしました平成 26 年 9 月期第 2 四半期累計期間（平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の連結業績予想および個別業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 平成 26 年 9 月期第 2 四半期累計期間(平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)の業績予想との差異

## (1) 連結業績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
					円 銭
前回予想 (A)	7,744	460	479	248	110.63
今回実績 (B)	8,119	715	757	481	213.38
増減額 (B-A)	+375	+255	+278	+233	—
増減率 (%)	+4.8%	+55.5%	+58.0%	+94.0%	—
(ご参考)前年同期実績 平成 25 年 9 月期第 2 四半期	7,180	370	407	204	91.06

## (2) 個別業績

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
				円 銭
前回予想 (A)	4,812	325	175	78.05
今回実績 (B)	5,281	597	407	180.50
増減額 (B-A)	+469	+271	+232	—
増減率 (%)	+9.8%	+83.5%	+132.6%	—
(ご参考)前年同期実績 平成 25 年 9 月期第 2 四半期	5,169	440	260	116.26

## (3) 差異の理由

売上高の計画比増加が主因として考えられます。マーケティング事業におきましては、当社（個別業績）では、インターナル・マーケティングにおける自動車関連分野や住宅設備関連分野における教育関連施策の計画比減少があったものの、カスタマーサポート・マーケティングおよびエクスターナル・マーケティングにおける計画比増加があり、前回予想を上回る結果となりました。増加の内訳としましては、カスタマーサポート・マーケティングにおいて、自動車関連分野における修理書、工作機械関連分野における使用説明書等を中心に計画を上回る案件があったこと、エクスターナル・マーケティングにおいて、自動車関連分野におけるブランドイメージ向上支援案件や販売促進案件が計画に比べ増加したことが挙げられ

ます。

また、連結業績では、広州国超森茂森信息科技有限公司のインターナル・マーケティングにおける自動車関連分野の商品教育案件の増加、Maruboshi Europe B.V.のカスタマーサポート・マーケティングにおける自動車関連分野および工作機械関連分野の使用説明書の案件増加が、売上高の計画比増加に寄与いたしました。

上記に加え、当社を中心として販管費を節減したことも利益項目の計画比増加の要因となりました。

以上の結果、連結業績および個別業績につきまして、1. (1) (2)の表のとおり、前回予想値と今回実績値との間に差異が生じております。

以 上